

学校の森・子どもサミット 分科会 (7/30)

平成30年7月30日(月) 15:40~16:40

<分科会1>

演題：「生き物や地域が発する問いに応えるまちづくり学習」

講師：飯島 博氏 (NPO法人アサザ基金 代表)

場所：アオッサ8階県民ホール



1995年より茨城県霞ヶ浦で「アサザプロジェクト」を主導。霞ヶ浦の再生のため、多くの小中学生とともに湖全域を歩いて地道な調査を開始、アサザの生態を題材にした出前授業も流域の小学校で実施した。アサザのような美しいお宝を活かして霞ヶ浦を再生しているこのプロジェクトは、現在200を超える小学校などの教育機関や企業、行政、農林水産業の参加を得るまでに拡大、人と自然が共存できる循環型社会の構築を目指して活動中。未来を担う子どもたちへの環境教育事業を全国に広めており、これまでに25万人が参加している。

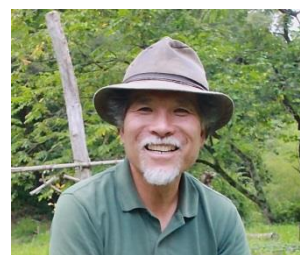
<分科会2>

演題：森のようちえん～幼児期の子どもの可能性～

講師：内田 幸一氏

(森のようちえん全国ネットワーク理事長、
長野県野外保育連盟理事長)

場所：アオッサ6階レクリエーションルーム



日本における「森のようちえん」の先駆者の一人。信州飯綱高原のネイチャーセンター&冒険あそびの森(長野市)を拠点に、幼児・青少年の自然体験教育活動を展開している。これまで30年以上にわたり、自然の中での保育活動を実践。全国で森のようちえんの普及と理解促進のための活動を行っている。